

【第三種郵便物認可】

# 大震災

## 中国地方から支える

国際医療援助団体のAMD A (岡山市)は地震でなくなった人は1日1万5千円、家が残った人は5千円だ。運転手や看護師、を派遣。私もその次の日はり師として被災地に入った。岩手県大槌町に2カ所、宮城県南三陸町に1カ所の拠点置き、これまでに医師や看護師ら延べ114人が活動している。

外から来る人はボランティアだが、被災者には資金を払って活動を手伝わってもらっている。家が

被災地での医療は第1段階の救急医療で、阪神大震災の教訓を生かして各地の災害派

AMD A 理事長  
菅波 茂氏



## 東北の産品、買って応援

に3千万円要る。AMD Aは機器付きで2施設を寄付する。国で岩手、宮城、福島3県を対象に1千億円規模の無利子融資制度をつくれぬか。診療所の設立認可も弾力的に取り扱う。被災地医療の復旧モデルをつくることは東南外からもっと多くの人々を呼んで、こんな被災地の姿を世界に見せたい。

遣医療チーム(DMAT)が機能した。第2段階の避難所医療も被災した地元開業医の献身的な活動に支えられて順調だ。これからは地域医療を確立する第3段階に入る。地域医療の主役は地

元開業医だ。避難所になった学校が再開されることもあり、国は開業医を支援して仮設の診療所を急いで整備すべきだ。診療所は50平方メートルのプレハブでいい。検査機器など設備を整えるの

# 中国

岡山支局長 木下修臣  
|| 随時掲載